

2025 年 8 月

BPPB 原稿作成のクイックガイド

BPPB 編集室

Microsoft Office Word または LaTeX の Template が用意されていますので、
BPPB の原稿作成にあたってはどちらかの Template を用いてください。
Template ファイルは、BPPB の Web ページからダウンロードできます。

https://www.biophys.jp/biophysics_and_physicobiology.html

にアクセスし、下記の手順でダウンロードしてください。

[Submit] -> [Download Templates] -> (カテゴリーに応じた適切な Template を選択)

BPPB では、次のカテゴリーがあります。

- (1) Regular Articles
- (2) Review Articles
- (3) Notes
- (4) Methods and Protocols
- (5) Databases and Computer Programs
- (6) Commentary and Perspective
- (7) Editorial

各カテゴリーの詳細は“Instructions for Authors”のページ：

https://www.biophys.jp/biophysics_and_physicobiology03.html#1

を参考にしてください。

※投稿システムでは、上記以外に Special Issue Articles もありますので、適宜適切なカテゴリーを選択してください。

Template file には、テキスト、表、図を含んでください。また、論文の内容に関連する Supplementary (付録) ファイルを、PDF, image, ムービーの形式で Template file と同時に投稿できます。

下記に、原稿作成における簡易な説明を記載します。

1. Text

1-1. First page information

1-2. Sections

1-3. Main text body

- 1-4. Header
 - 1-5. Footnotes
 - 1-6. Conflict of interest
 - 1-7. Author contributions
 - 1-8. Data availability
 - 1-9. Comments about deposition to a preprint server
 - 1-10. References
- 2. Tables
 - 3. Figures
 - 4. Supplementary materials
 - 5. Graphical Abstract
 - 6. Publication fees (APC: Article Processing Charges)

1. Text

Text ファイルには、各カテゴリーに応じて、論文タイトル、著者名、論文内容、参考文献などを Template ファイルに記載します。全ての URL はハイパーインクしてください。

全てのフォントは Times New Roman を利用します。ギリシャ文字などの特殊文字の場合は、Symbol のフォントは利用せず “0391” から “03C9” までの Unicode 文字を入力しフォントは Times New Roman のままで表示してください。特にギリシャ文字入力の場合には、Template 中に例として記載してあるギリシャ文字を選んでコピーしそのまま貼り付けるか、あるいは Microsoft Office Word を利用される場合には、Microsoft サポート (<https://support.microsoft.com/ja-jp/word>) に記載されている Unicode 文字の入力法を参考してください。

最終原稿では、全てのフォントの色を黒色に指定してください。（リンク付 URL は除く）

全てのパラグラフの先頭行は、Template に従って左側のインデント（字下げ）をしてください。また、各行は両端揃としてください。

Template には、直接、原稿をキーボードから入力するか、前もって準備した原稿からコピーして Template 中に貼り付けてください。その際には、[編集]→[形式を選択してペースト]→[テキスト]として、Template のフォーマットを守ったまま貼り付けてください。

1-1. First page information

先頭ページには、論文タイトル、著者名、著者所属組織名とその住所、要旨 (Abstract)、キーワード、Significance、責任著者 (Corresponding author(s))

を記載します。“Commentary and Perspective”あるいは“Editorial”的カテゴリでは、要旨（Abstract）、キーワード、Significanceは不要です。

1-1-1. 論文タイトルは太字の16 pointのフォントを用い、先頭の文字のみ大文字としてそれ以外の各単語は、固有名詞以外は小文字としてください。また、左詰で記載してください。

論文タイトル中には、“New”, “Novel”, “First”, “Unprecedented”, またはそれに類する記載・形容詞を含まないようにしてください。下記の論文を参考としてください。“Editorial” by Arai, M., Komatsuzaki, T., Nakamura, H., Biophys. Physicobiol. 17, 155 (2020). <https://doi.org/10.2142/biophysico.BSJ-2020030>

1-1-2. 著者名は12 pointのフォントを用い、名前と姓とをフルネームで記載して、他の著者との間はカンマ“,”で区切ってください。最終著者名の前には“and”を挿入しないでください。また、左詰で記載してください。

1-1-3. 所属先は、10 pointのイタリック体のフォントを用い、所属先の名称と、住所（市、都道府県、郵便番号、国名）を記載してください。町名や番地は記載しないでください。

1-1-4. Abstract（要旨）は、10 pointの太字のフォントを用いて250語以内で記載してください。また、両端揃えで記載してください。

Abstract中には、“New”, “Novel”, “First”, “Unprecedented”, またはそれに類する記載・形容詞を含まないようにしてください。下記の論文を参考としてください。“Editorial” by Arai, M., Komatsuzaki, T., Nakamura, H., Biophys. Physicobiol. 17, 155 (2020). <https://doi.org/10.2142/biophysico.BSJ-2020030>

特に和文誌「生物物理」からの推薦論文の場合には、Abstractの最後に和文誌の論文タイトル、巻数、ページ数を記載するか、文献リストに和文誌の情報を記載してIntroductionでその文献を引用するようにしてください。

1-1-5. Keywordsは、10 pointのフォントで、1つ以上最大5つまで、カンマ“,”で区切って記載してください。

1-1-6. Significanceには、10 pointのフォントで論文の重要性・意義について最大100語以内で記載してください。

1-1-7. Corresponding author(s)の情報を1ページ目の下部欄外(フッター)に、Templateに従って記載してください。Corresponding author(s)が複数の場合には、それぞれの情報の後にセミコロン“;”で区切ってください。論文のTemplate中には複数のCorresponding authorsを指定できますが、論文

を投稿する際に用いる BPPB の ScholarOne Manuscript (S1M)の Web site では、その仕様上 Corresponding author は 1 名しか記載できないようになっておりますのでご了解ください。

Corresponding author(s)の情報としては、氏名、連絡先（所属）、連絡先（市、都道府県、郵便番号、国名）、ORCID iD (URL) を記載してください。ORCID iD の URL はハイパーリンクをしてください。連絡先の県名と市の名称が同一の場合は、市の名称は省いてください。

Corresponding author(s)の情報として、e-mail address の記載の可否は著者に任せますので、記載したい場合にのみ、ORCID iD の後ろにカンマ“,”を付けて、Template にならって記載してください。

1-2. Sections の入力法

先頭ページの情報に続いて下記の Section を記載してください。

1-2-1. main section は次の順番としてください

Introduction

Materials and methods (または Methods)

Results

Discussion (または Results and discussion としても結構です)

Conclusion

Conflict of interest

Author contributions

Data availability

preprint server へ事前に投稿されている場合にはその情報の記載

Acknowledgements

References.

1-2-2. Section 名は、10 point の太字のフォントで、先頭の文字と固有名詞のみを大文字で記載してください。Section 名の前に番号を加えないでください。

1-2-3. Subsection を加えることもできますが、その場合の Subsection 名は、10 point の太字で、先頭の文字と固有名詞のみを大文字で記載してください。Subsection 名の前に番号を加えないでください。

1-3. Main text body

テキストは 10 point の Times New Roman のフォントで記載し、single space で両端揃えとしてください。全てのパラグラフの最初の行は、Template に従つて左側のインデント（字下げ）をしてください。

文献を引用する際は、文献番号を上付きとせずに[1, 3, 5-8]などとして、カン

マ“,”やピリオド“.”の前に記載してください。文献番号は、関連して配置される図や表の説明文中の記載も含めて、昇順に付してください。Unpublished data の引用は、(Yamada, T., personal communication) ,(Suzuki, M. and Yoshida, M., unpublished data)のように記載してください。

Protein Data Bank 中の構造を引用する際には、[PDB ID: <PDB ID>] とテキスト中に記載し、<https://doi.org/10.2210/pdb<PDB ID>/pdb> ハイパーリンクしてください。ここで<PDBID>は、PDB が指定する ID です。(例 [PDB ID: 6qw9]) .

テキスト中に数式を記載する際は、数式エディターなどを用いて記載し、左側にインデントを行い、数式番号を(1), (2) などと式の右側に付してください。Unicode で表現できる文字あるいは文字列のみの場合には、数式エディターを用いずに Unicode で Times New Roman を利用した入力をしてください。

1-4. Header 情報

Running Title は、3 ページ以降の奇数ページの上部欄外（ヘッダー）に、10 point のフォントで空白を含めて 50 文字以内で記載してください。カテゴリー “Commentary and Perspective”あるいは“Editorial”には Running Title は不要です。

1-5. Footnotes

2 ページ以降には footnotes は記載できません。

1-6. Conflict of interest

下記の例に従って利害関係がある場合について記載をしてください。

- A, B, and C declare that they have no conflict of interest.
- D declares that she has no conflict of interest.
- E has received research grants from Drug Company F.

ただし、“Commentary and Perspective”あるいは“Editorial”のカテゴリーでは Conflict of Interest の記載は不要です。

1-7. Author contributions

下記の例に従って全ての著者の論文における役割・寄与を記載してください。

- A, B, and C directed the entire project and co-wrote the manuscript.
- D synthesized and characterized materials. E carried out diffractometry analyses. F performed NMR measurements.
- G and H carried out ab initio calculations.

For an article by a single author, the example is as follows:

- J designed the research, performed the experiments, analyzed data and wrote

the manuscript.

“Commentary and Perspective”あるいは“Editorial”カテゴリーでは Author contributions の記載は不要です。

1-8. Data availability

Corresponding author は、論文の根拠となるデータについては、正当な求めに応じてデータ公開をすることを下記の例のように記載してください。

- The evidence data generated and/or analyzed during the current study are available from the corresponding author on reasonable request.

また、全てのグラフ、表、それらに準じる内容に対しては、デジタル化された元データを Supplementary Materials として記載するか、あるいはJ-STAGE Dataに登録することを推奨します。

ただし、個人情報や、倫理的制限または特許などの法律的な制限によって公開ができない場合には、その理由を明確に記載してください。

論文の根拠となるデータとして生データなどが公開されている場合には、それらデータのリポシリ名、データ情報、DOI情報を下記の例に従って記載してください。

- Genetic and/or genomic sequence data were deposited to the DDBJ/ENA/GenBank (INSDC: <https://www.insdc.org/>) under the accession number: ??????.
- Coordinates, structure factors and its validation report of protein X were deposited to the Protein Data Bank (<https://www.wwpdb.org/>) under the PDBID: ??? with the DOI of <https://doi.org/10.2210/pdb????/pdb>.
- The trajectory and a series of snapshots for the current molecular simulation study were deposited to BSM-Arc (<https://bsma.pdbj.org/>) with the DOI of <https://doi.org/10.51093/bsm-????>
- Quantitative biological data and microscopy images analyzed in this study were deposited to SSBD (Systems Science of Biological Dynamics database: <https://ssbd.riken.jp>) with the DOI of <https://doi.org/10.24631/ssbd.repos.????.???.???>
- The original raw data that support the findings of the current study are available in J-STAGE Data (<https://jstagedata.jst.go.jp/biophysico>) with the DOI of <https://doi.org/10.34600/data.biophysico.????>

ただし“Commentary and Perspective”あるいは“Editorial”カテゴリーでは Data Availability の記載は不要です。

1-9. Comments about deposition to a preprint server

Preprint server に投稿された論文の場合には、下記の例にならって、その

Preprint server 名、URL、投稿日の情報を Data availability の後ろ、Acknowledgements の直前に記載してください。

“Preliminary version of this work was deposited in arXiv (ID, DOI or URL) on August 13, 2020.”

1-10. References

Reference List の書き方は、Instructions for Authors (https://www.biophys.jp/biophysics_and_physicobiology03.html) および Template 中に紹介されておりますので、それに従って記載してください。概略は下記の通りです。

1-10-1. 雑誌の論文を引用する場合には、著者名、論文タイトル、雑誌名、volume 番号、ページ番号（あるいは論文 ID）、発刊年、DOI の順に、Template 中の例にならって記載してください。本、本の章や preprint server の論文を引用する場合 合には、Instruction for Authors (https://www.biophys.jp/biophysics_and_physicobiology03.html#5) を参考としてください。

1-10-2. 論文タイトルは、固有名詞を除いて先頭の文字のみ大文字としてください。

1-10-3. 著者が 6 名までの場合には、最後の著者名の前に“and”あるいは“&”は付けずに記載してください。

1-10-4. 著者が 7 名以上の場合には、6 名までの著者の後に“, et al.”とイタリック体でなくノーマル体で記載してください。

1-10-5. 雜誌名はイタリック体でなくノーマル体で省略名を記載してください。雑誌の省略名は Index Medicus/MEDLINE フォーマットに従い、省略語の後ろにはピリオドを付してください。Index Medicus/MEDLINE フォーマットは NCBI Database (<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals/>) にある NLM Catalog から調べられます。

1-10-6. Volume 番号は太字でなくノーマル体で記載してください。Issue (号) の情報は不要です。

1-10-7. DOI 情報が存在する場合には URL で記載してください。各引用文献の DOI は、CrossRef が提供する “free DOI lookup site (<https://www.crossref.org/guestquery/>)”などを利用して調べられます。

1-10-8. Preprint server 中の論文を引用することができますが、その際は URL を記載してくださいください。

1-10-9. BPPB の
https://www.biophys.jp/dl/biophysics_and_physicobiology/Biophysics_and_Physicobiology.ensCitation Style Language (CSL) が “ biophysics-and-physicobiology.csl ” として GitHub site (<https://github.com/citation-style-language/styles>) および Zotero site (<http://www.zotero.org/styles/biophysics-and-physicobiology>) から入手できます。この CSL を Zotero (<https://www.zotero.org/>) や Mendeley Free/Desktop (<https://www.mendeley.com/>) によって活用していただくことで、容易に BPPB の引用スタイルに合致した文献リストを作成できます。

1-10-10. EndNote をご利用の方は、USACO 株式会社 (<https://www.usaco.co.jp/endnote/>) のご協力により EndNote 用の output style “Biophysics_and_Physicobiology.ens” が用意されていますのでご利用ください。利用法は下記をご覧ください (https://support.clarivate.com/Endnote/s/article/EndNote-Install-Additional-Output-Styles?language=en_US)。

2. Tables

表 (Table) とそのキャプションは、Template file 内の適当な場所に適切なサイズで貼り付けてください。Microsoft Office Word の場合には、Table とそのキャプションは、Text-box 機能を利用してください。左右のマージンがテキストと同様に 20 mm となるようにし、はみ出さないように注意してください。また、カラムを分ける縦軸は表示しないようにしてください。

Table が画像として Template file に埋められている場合には、HTML 版の表示をするため、元の Microsoft Office Word または Excel のファイルを S1M の Web サイトから別途 upload してください。

全ての表は、Table 1, Table 2 などとテキスト中で引用される必要があります。表の番号は、テキスト中で昇順に付してください。

表の番号、タイトル、説明は、Microsoft Office Word の Text-box 機能を用い、各表の上に 10 point の Times New Roman の太字フォントで記載してください。インデントはせず、行間は 1 行とし、複数行となる際は両端を揃えてください。

表中の注釈 (a, b, c など) は、Microsoft Office Word の Text-box 機能を用いて、表の下に 10 point の Times New Roman のフォントで記載してください。

インデントはせず、行間は 1 行とし、複数行となる際は両端を揃えてください。

3. Figures

図 (Figure) とそのキャプションは、Template file 内の適当な場所に適切なサイズで貼り付けてください。図のサイズは、1 page を超えない範囲として Template に埋め込んでください。

各 Figure のキャプションは、Microsoft Office Word では Text-box 機能を利用して Figure の下に貼り付けてください。10 point の Times New Roman のフォントを用い、Figure 番号のみ太字としてください。インデントはせず、行間は 1 行とし、複数行となる際は両端を揃えてください。

各図は TIFF, JPEG, PNG のいずれかのフォーマットで 300 dpi の分解能で作成し、Template 中に適切な大きさで貼り付けてください。左右のマージンがテキストと同様に 20 mm となるようにし、はみ出さないように注意してください。

全ての図は、Figure 1, Figure 2 などとしてテキスト中で引用される必要があります。図の番号は、テキスト中で昇順に付してください。

Template file に埋められている Figure に加えて、XML および HTML 版の表示をするため、各図を別途、個々に TIFF, JPEG, PNG のいずれかのフォーマットの 300 dpi 分解能のファイルとして、S1M の Web サイトから upload してください。

4. Supplementary materials

Supplementary ファイルには表紙を付けないでください。

Text あるいは Text と図・表が混じった Supplementary ファイルの場合には PDF フォーマットとしてください。

画像を Supplementary ファイルとする場合には、TIFF, EPS, JPEG, PNG, PDF のいずれかのフォーマットとしてください。ムービーのファイルとしては、MPEG または AVI のフォーマットとしてください。

ファイル拡張子は txt, jpg, jpeg, tif, tiff, eps, png, pdf, mpeg, avi のいずれかとし、ファイル名称にはスペースを含めず、また日本語文字 (2 バイト文字) や file path を使わないようにしてください。

Supplementary 中の表に対しては、Supplementary Table S1 などと引用してください、図に対しては、Supplementary Figure S1 などと引用してください。

5. Graphical Abstract

“Commentary and Perspective” と “Editorial” を除くカテゴリーの全ての論文で

は、論文の内容を描写する Graphical Abstract を S1M の Web サイトから必ず upload してください。Graphical Abstract は TIFF, JPEG, PNG のいずれかのフォーマットで 300 dpi の分解能で作成してください。Graphical Abstract としては、論文中に利用した図あるいはその一部でも構いませんが、他の著作物の著作権を侵さないように注意してください。この Graphical Abstract は、BPPB および J-STAGE の Web ページで表示される他、Volume (issue) の表紙画像の候補となります。

また、この Graphical Abstract について 100 words より短い説明文も S1M の Web サイトから upload してください。Graphical Abstract の画像と一緒に表示いたします。

6. Publication fees (APC: Article Processing Charges) 出版費用

“Commentary and Perspective”および“Editorial”を除くカテゴリーの全ての論文の出版費用は、論文の長さによらず一律 40,000 円に加えて消費税としています。

“Commentary and Perspective”および“Editorial”のカテゴリーの論文に対しては、18,000 円に加えて消費税としています。

以上、Template への記載法についてのご質問などがある場合には、ご遠慮なく BPPB 編集室 <biophysics[AT]nacos.com> までおたずねください（[AT]を@に替えてください）。